

2024 年 8 月度理事会 議事録

1. 開催日時：2024年8月26日（月）15時～19時
2. 開催場所：〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-1 msb Tamachi 田町ステーションタワーN 26F
サトーホールディングス株式会社 会議室
3. 出席者：高島代表理事、佐々島理事、佐藤理事、本宮理事、
事務局メンバー）サトーホールディングス株式会社 宇敷様、
大阪シーリング印刷株式会社 大橋様、リントック株式会社 加瀬様、
王子タック株式会社 高橋（記）

4.議 案：

<共有①活動情報共有>

●活動アイテムについて

- ・先月の議題となった活動用アイテムとして、J-ECOL ロゴ入りのポロシャツ(2,600 円/枚)を数枚作成した。
希望があれば作成できるので申し出てほしい。（高島代表理事）
- ・J-ECOL ロゴ入りストラップも確認したところ、400～500 円/本(ロット 50 本)で作成できる。（大橋様）

●メーラー、HP 改修について

- ・下記に関して大橋様より報告。

① メーラーの変更

- ・予定通り「ムームーメール」から「お名前.com」へ変更した。
転送機能の送信先に加瀬様、高橋様の 2 名を追加

② HP 改修

- ・トップページに加盟団体追加の要望頂いたが縦スクロールが長くなってしまい閲覧しづらくなってしまった。
⇒加盟団体を横スクロールで表示できるように検討してほしい。（高島代表理事）
- ・「OUR MISSION」等の掲載文言について、皆様の知恵をお貸しいただきたい。
➡大阪シーリング印刷の方からショートバージョンにしたものをご提案するので検討をして頂く。
- ・現在検討中のプロモーション動画についても今後掲載予定する。
- ・シールラベルの市況の最新情報をラベル新聞より入手した最新情報で掲載したい。（高島代表理事）
- ・GHG 排出の掲載に関し、現在の案だとリサイクル後の GHG 排出量の数値をリサイクルのケースごと及び燃焼した場合とを並列に記載しているため、一番低いリサイクル例があたかも最もエコの様に感じてしまい、趣旨と異なって理解されてしまう恐れがある。本来の趣旨である剥離紙を燃焼するよりリサイクルした方が良いという事がわかる様な表現に変更した方が良く考えている。単純に、年間使用される剥離紙を燃焼した場合の CO2 排出量を掲載するのはいかがだろうか？（加瀬様）
⇒リントック様と改めて表現方法について協議する。（佐々島理事）
- ・スケジュールは、10 月展示会に合わせて、9 月中に第一段階(ターゲットに伝わりやすいデザイン、内容)を完成させたい。（高島代表理事）

<審議②回収スキームについて>

●回収パターン

・排出企業様から排出される量や事情により事なるが、排出企業様から古紙問屋様等リサイクラーへ運送する方法として以下 3 パターンを考えている。

- A) 指定場所へ持ち込み
- B) 指定運送便(元払) 段箱の場合 20kg 未満 JITBOX 等
- C) 古紙業者収集委託 目安 2t/月～

⇒排出企業様へ回収パターンを提案する。小口対応としてパターン B を追加する。(高島代表理事)

・B パターンの一例として、佐川急便の「回収くん」という回収配送サービスの紹介を受けた。

例えば、排出企業様へ佐川急便が集荷に向かい、費用に関しては着払いも可能で、J-ECOL で一旦負担するという事もできる。

輸送時の GHG 算定も可能である。

費用としては、初期費用 33 千円+月額システム利用料 11 千円+データ使用料 55 円/件+重量に応じた運送費(例 20kg で約 2,700 円) 掛かってしまい、A・C パターンと比較すると割高となってしまうが、会費から賄い、J-ECOL 会員限定のサービスの一つとしてか考えても良いかもしれない。(宇敷様)

⇒費用として高く、また J-ECOL での事務処理、受発注発生に伴う決算業務等、かなりの作業負担増をどう対処するかを合わせて考える必要がある。(佐々島理事)

・回収パターンについてホームページに掲載も検討したい。(高島代表理事)

・リサイクル実績把握管理について

J-ECOL の取り組みデータ可視化の一つとして回収剥離古紙流通量の把握、トレーサビリティを目的とした実証実験を進め、ニュースリリースも検討したい。

具体的な方法としては、J-ECOL 側で新規に ID 発行し、排出企業様、古紙問屋様、リサイクル企業様の各拠点で、アプリケーションを用いてスマートフォン等の端末にて物量等の情報を入力し入出の管理をする。データはクラウド上に保管されていく。サトーのシステム利用となる。(高島代表理事)

⇒既存の物流管理システムと別に管理をしなければならず、煩雑となり、流通関係者によっては拒否反応も懸念される。(佐々島理事)

また、在庫数量等を流通に関係する個社の在庫状況を常時公開することになり、懸念を示されることがあるかもしれないが、まずは課題抽出目的として、実証実験を進めてみることで良いと考える。(佐々島理事)

会員及び会員以外の回収をお待ち頂いている排出企業様へ実証実験参加募集をする。(高島代表理事)

<議論③第 3 回情報共有会の議題について>

- ・回収パターンについて(継続協議)
- ・回収パターン B でのリサイクル実績把握管理の実証実験について
- ・プロモーション動画作成の検討状況について(継続協議)
- ・HP 改修状況について(継続協議)
- ・その他議案が発生すれば追加

以上